

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公開番号】特開 2012-64311 (P2012-64311A)

【公開日】平成 24 年 3 月 29 日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2012-013

【出願番号】特願 2010-204981 (P2010-204981)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 24 日 (2012.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機 E L 表示装置であって、

透明基板と；

前記基板の第 1 の面側に形成された有機 E L 素子と；

前記有機 E L 素子に面する前記基板の前記第 1 の面上に形成された封止ケースと；

前記有機 E L 素子に電圧を印加する端子と；

前記端子の端部を除いた前記有機 E L 表示装置の全体を封止している封止材と
を具備した有機 E L 表示装置。

【請求項 2】

前記封止材は透明な封止材である請求項 1 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 3】

前記基板と前記封止ケースとを固定する接着剤を更に備え、前記接着剤は長さ 10 μ m
以下のガラス片を含んでいる請求項 2 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 4】

前記封止ケースと前記封止材との間に設けられたスペーサと；

前記スペーサと前記基板又は前記封止ケースとの間に設けられた少なくとも 1 つの乾燥
剤と
を更に備えた請求項 2 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 5】

有機 E L 表示装置であって、

基板と；

前記基板の第 1 の面上に形成された有機 E L 素子と；

前記有機 E L 素子に面する前記基板の前記第 1 の面上に形成された封止ケースと；

前記有機 E L 素子に電圧を印加する端子と；

前記封止ケースと前記基板との間に設けられた第 1 の封止材と；

有機 E L 表示装置の端部に隣り合った補強材と；

前記補強材を覆うように形成された透明の第 2 の封止材と

を具備した有機 E L 表示装置。

【請求項 6】

前記第 1 の封止材はガラスを細かく砕いて純粋な樹脂と混ぜた封止材である請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 7】

前記細かく砕いたガラスは長さが 10 μ m 以下である請求項 6 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 8】

前記補強材は、金属、ガラス及び樹脂からなる群より選択される材料を含んでいる請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 9】

前記補強材は前記有機 E L 表示装置の外周部の一部分を覆って形成されている請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 10】

前記第 2 の封止材は、前記有機 E L 素子が形成されている領域外に設けられている請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 11】

前記補強材の外側に乾燥剤を更に備えた請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 12】

前記補強材の内側に乾燥剤を更に備えた請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。

【請求項 13】

有機 E L 照明装置であって、

基板と；

前記基板の第 1 の面上に形成された有機 E L 素子と；

前記有機 E L 素子に面する前記基板の前記第 1 の面上に形成された封止ケースと；

前記有機 E L 素子に電圧を印加する端子と；

前記封止ケースと前記基板とを固定するための接着剤と；

前記端子の端部を除いた前記有機 E L 照明装置を包み込む透明又は半透明の封止材とを具備した有機 E L 照明装置。

【請求項 14】

前記封止材は透明である請求項 13 に記載の有機 E L 照明装置。

【請求項 15】

前記封止材は半透明である請求項 13 に記載の有機 E L 照明装置。

【請求項 16】

前記接着剤はガラスを細かく砕いて純粋な樹脂と混ぜた封止材である請求項 13 に記載の有機 E L 照明装置。

【請求項 17】

前記細かく砕いたガラスは長さが 10 μ m 以下である請求項 16 に記載の有機 E L 照明装置。